

# 省エネ照明 東南アで展開

## 豊光社、タイに生産子会社

プリント基板製造の豊光社（北九州市、倉光宏社長）は東南アジアで省エネLED型照明機器の製造販売に乗り出す。11月にタイに生産子会社を設立しており、来年春をメドに工場をフル稼働させる。現地の販売代理店と連携し、タイ国内の工場や店舗などに売り込むほか、周辺国にも輸出し、2015年8月期に東南アジアで3億～5億円の販売を計画している。

### 工場・店舗向けに販売

タイで生産するのは消費電力を従来の蛍光灯より20～40%程度抑えられる冷陰極蛍光管（CCFL）を使った照明機器。発光ダイオード（LED）に比べて省エネ性能は劣るが、寿命は蛍光灯の3～6倍とLEDとほぼ同じだ。価格はLEDの半分から4分の1という。

市を設立。豊光社が80%、倉光社長が10%、タイ国内にネットワークを持つ東京都内の土壌汚染調査会社が10%を出資した。すでに試験生産を始め、来年春をメドに月産3000本のフル生産に引き上げる。

現地の販売代理店と連携し、タイで売り込むほか、ベトナム、マレーシア、インドネシアなど周辺各国でも販売する。豊光社は1969年設立。主にプリント基板を製造、大手電機メーカーなどに販売してきた。12年8月期の売上高は約9億円。

プリント基板技術を生かし、09年に製造・販売を始めたCCFL照明は植物工場向け装置などを展開しており、販売額は4億円弱に達している。

### 大学の共同研究4%増

#### 九州の昨年度 中小との連携拡大

九州経済産業局がまとめた2011年度の九州の大学、高等専門学校と民間企業、独立行政法人などの共同研究調査によると、共同研究の件数は1856件と前の年度比4%増え、比較可能な07

年度以降で最多となった。同局は「景気低迷で大企業が研究開発費を抑制するなか、大学側が中小企業に積極的に連携を働きかけた成果が表れた」と分析している。

九州にある短期大学を除く大学と高専の計79校を対象に実施。企業や独法などと共同で手掛ける「共同研究」と、企業などから依頼を受けて取り組む「受託研究」について調査は12年9～10月、

研究内容では、共同研究、受託研究とも医療・バイオ関連の「ライフサイエンス」が全体の3割を占め、最も多かった。

増の2045件となり、07年以降で最多だった。共同研究や受託研究の際に企業などから受け取る研究費は、共同研究が4%減の34億円で2年ぶりに減り、受託研究は13%減の107億円で4年連続の減少となった。

リクルートライフスタイル（東京・千代田）が11日発表した「人気温泉地ランキング2013」によると、まだ行ったこととはないが一度は行ってみたい「あこがれ温泉地」

## 野菜工場で豆苗生産

### 村上農園など、沖縄に新設

発芽野菜を生産する村上農園（広島市、村上清社長）と共同で、沖縄県産企業連合は沖縄県内の



公共施設の内装工事など、屋上や志布志市が主産地。芝生に比べ水やりや除草の手間がかからないという。

鹿児島産植物で屋上緑化

鹿児島産植物は鹿児島産。同社は生産農家と組み、

鹿児島産植物で屋上緑化

鹿児島産植物は鹿児島産。同社は生産農家と組み、

一度は行ってみたい温泉  
由布院、7年連続1位  
リクルート系調査 指宿が5位

日商保険  
コンサル  
ティンガル